京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

社會縦横（十六） みどり

▲去る二十四日夜民間有志者の發起に催うされたる東拓會社役員招待會は却々の盛會を極めし由至極結構の次第に候席上熊谷民長が得意の辨舌を弄して一場の挨拶を爲したる言葉の中に「從來我々は東拓會社が是等の重大なる目的を貫徹するや否やに就て甚だ杞憂に堪へざりしが、愈々成立の曉に於て重役諸君の御顔振れを拜見すれば何れも内外の望を屬する方々のみなり」との讃辭有之しとかの事に候が其の際席末に幽鬱し居りて此の挨拶を謹聽せしある一人は「御顔振れ拜見」とは大出來〳〵と獨語いたしたるとかの由に候、而も此の警句（も

▲日本官費留學生十八名の缺員に對し今回學部に於て選拔試驗を執行したりしに志願者百數十名の多きに達したる由に候が試驗の結果合格せしものは僅かに九名といふに至つては聊か一驚を喫せざるを得ず候、這は要するに自己の素養と資力とを量らず唯偏へに官費なる福音と日本留學なる虚榮心とに驅られ萬一の僥倖に出來得べくんば或る情實を利用して試驗の關門を潛り拔けんとする細からぬ下心より斯くワイ〳〵と募に應ずる次第に候、學部當局者は此の現象を見て韓國教育事業の不振と考へ居らるゝやに承り候が幷はホンの普通一箇の觀察にて其の實如上の官費なる福音と日本留學なる虚榮心とに驅らるゝ結果に外ならず候、

▲近來天然痘が大分流行し蔓延の兆ありとのことに候、而して天然痘にしても靈あらば排日思想を抱けるもの竝に地方の暴徒を襲ひ入率の勞を煩はさずして斷然截然可然處分を施して貰たきものに候、尤も天然痘は鎭西八郎の如き勇猛なる人物を怖れ伊藤統監の如き柔さしき人物を好む由に候

以上（二十六日午後三時記）

●瑞光餘影（五） 魚遊痴史

▲入船と云へるは昨年新築の洋風造りにて一寸見た處では會社か銀行の如き建物なり階上は五十餘疊敷の大廣間にて階下には小座敷十餘房あり故に大概の大きい宴會は此樓に持込むと云事なり●●結ぶゑん會首尾洋風で

登樓客の理想に大廣間

▲此樓の主人は大阪の生れにて年は若けれど商事に氣付て拔目なく加之に女將の如才なさと仲居の機轉利と酌婦の親切と藝妓の愛嬌とが好評判にて近來は却々の繁昌なりとは目出たし〳〵

夥多れ客の氣に入船は

夜ごと日毎の賑はしさ

▲同家の藝妓にみさをと云ふがあり當地奉迎委員の申込にて大久保大將の御給仕役に擇ばれ其宿舍なる税關官舍に罷り出で彼女二日二晩のお勤めを首尾よく相濟して歸樓し余等に語つて曰く「閣下樣は妾の事をお前は當郎の令孃なるかと仰しやりました」と得意滿面

●●●みさを正き姿に見せて

本地を隱くした雪の松

▲右の挨拶に對して宇佐川總裁の答辭が頗る通俗的に向ふ三軒兩隣りへの挨拶的に詰めていへば簡單的に出掛けたる由に候、ザット摘い摘んで申さうなら「今日の場合會社の事業を營む上に於て偏に諸君の御高庇を仰ぎたく何分共に宜しきやう御依賴申す」とかのことに候、併しこれ丈何を御依賴申せしことにや又何を御依賴申されたることにや幾何學上から否な軍人的法律家的頭腦から申せば更に無意味に候もそこがつまり世間普通の挨拶にて別に此の間には權利も義務もあつたものには無之候、假令鋤鍬を左手に執り居ると雖ば左手に劍刄を握り居る宇佐川總裁の挨拶としては是れ又確かに大出來に候、し斯くいふを許さば）は民長其の人にあつては眞面目なる言辭に候、

文苑

●雲と雲（四） むら香摘

鳥追ひや松の根岸の宵月夜

遣羽子や柳の裳裙梅の袖

喧嘩早きめ組の鳶の出初哉

朝富士を尻目に掛ぬ梯子乘

初空や酒荷の續く江戸の海

初午や梅はの白むよべの雨

何れも面白し、かくては予も一吟なからざるを得ざる心地す、いざさらば溺れて鵜の眞似する鳥よと笑はるゝ迄もとて、

鳥追ひの編笠覗く藝妓かな むら

遣羽子や妹は十四名は小艶

大江戸の華なり鳶の出初式

梯子乘の倒に見たり不二筑波

初空や紫匂ふ雲の色

初午や背に掛け行く納稍馬

句にはあらで苦也然り四苦八苦也他人の嗤笑を待たず、自から苦笑を禁する能はさるものあり、此れ苦淵、難澁の作也、決して笑嗟の作なればなど負け吝み申さす。



佐倉宗吾（十七） 眞龍齋貞水講演

萬兵衛年齢二十五だし、力性はウンとあるから、天秤棒を持て立ち上がると 半「再び不禮をするかッ、手向ひするかッ」と喚鳴るを聞はず目明目蒐けて、横ツ面ボカッと撲つた 目「アッ」と云ふと眼が眩んで倒れる、途端に堤の下へ轉げ落ちる、之を見る者はありやせぬ 萬「サア大變、日頃目「汝ッ、御用ッ」飛蒐から御母ざんが云つた、今年ア二十五の厄たる一人の目明が 萬「ムームッ」と力量に任年、氣を注げべえと云はしつたのは此處だつて來る奴を、又眼玉がヒョッとな、萬兵衛どうして斯んな事をしたか、アせて腦骨を打碎いたので、已さへ死んで仕舞やア、御母に難義は飛出て、キャッと云ふと其處へ斃れた、河、狂氣掛けめへ、また已が處拂ひしたつて、村の井半助大に怒つて 半「こりや万兵衛、いたしたかッ」と飛蒐つて來る 万「エーッ寒が如何にかしてくれべえ、意外だ事をし情け容赦もねえ所の地方役人共、切突張りた、御役人樣、宥して下つせねえと、少し莊奴ッ」ボカーン、頭を一つ毆はせた 半「ア然して詫言をしてゐる、親孝行の萬兵衛でッ」と云ふと、是もまた後へ倒れて 半「汝でございますから、一心からムラ〳〵ッとしれッ」と腰を上げやうとする所を 萬「何事て、天秤棒を以て廻村の役人の腦骨を打破を仕やがる此鬼役人奴ッ」ボカーンと又毆して仕舞つた、是は万兵衛の手を以て、天つた、是また鮮血淋漓、アッと倒れて呼吸が非道の役人を打殺したのでございます、天



だ 万「濟まねえ、申し譯がねえ 丙「已ア恰度、主が謝罪つてる所へ來たが、役人の氣の注かねえ所を幸ひに、容子を覗つて、愈よと云ふ時ア出て、助けてやるべえと思つた所が、主が突如よんなくつただ、今まで大けへ眼玉グルグルしやがつたから、見ろッ、眼玉ハア飛出して、サア何でも持てハア汝、死んだ日にや、御母が心配いさつ來い」幾ら威張つたつて大丈夫だ 丙「時にしやるから、死ぬにや及ばねえだ、汝ア是から土地を逃げて仕舞へよ 万「ハ 丙「ハアちやねえ、何でも宜いから逃げて仕舞へ、汝ア潮來の者おぢやねえか、汝の叔父ア、潮來にゐるぢやねえか 萬「ハイ、私の叔父樣は、潮來の漁師でがす 丙「已ア知つてら、お前の叔父さん潮來ちや宜い顔だ、潮來は水戸樣の御領分だから安心だ、是から早く歸つて、御母ざん伴れて、河向うへ越して仕舞やア、堀田樣手なんど着ける事ア出來るもんぢやねえ、ドン〳〵逃げて仕舞ひな

が斷れた、其内に一番先きへ打倒れた奴が愈よ仕方がないから、萬兵衛腹でも切て死聊か氣が注いて、漸うの事で、徐々と頭をなうと、盤臺の中から取出した出刄庖丁で擧げて見ると河井半助も目明も、腦骨が碎既に斬うよと見ねた所へ、ガサ〳〵ッと向かれて居る、吃驚してパッと駈出した、万うの方の笹叢を分けて出て來たのは、三人兵衛は血に狹んだ天秤棒を其處へ放り出の仲間の衆 甲「万兵衛待てッ 萬「エッ、れて 万「ゑらい事を行つて仕舞つた、どんで前さん方は 甲「お前さん方ちやねえ、偉へもねえ事を行つて仕舞つた……御役人さま事を行つた、感心なもんだ……此野郎忌々しーッ、御役人さまーッ……迚も無益だ、頭しい野郎だ、大きな眼のくり玉ア開けてギが是れハア打破れて仕舞ッて眼のくり玉がヨロ〳〵仕やがつて何でもハア少しの銭を繰出してゐるが、すんだ所が仕方がねえ根に廢えて民を苦めやがつて万兵衛よく此方の目明を見ると、やはり眼玉が飛出し殺した、よく取つた、偉いもんだ、よく取てゐる 萬「何うしてら、已、こんな事したらうつた」猫か鼠でも獲りや仕まいし、能く取脆へもんだ、頭ぶつ破はしたら死ぬか知らつた〳〵と云つて譽めてゐる 乙「よく生命ねえ」どんな者だつても踏ぶつこはされて死なつた、萬兵衛なんの、死ぬにや及ばねえ

雜報

●經濟協會例會

東拓重役歡迎會

一昨夜京城ホテルに開催せられたる經濟協會の東拓重役歡迎會は近來稀なる活氣に滿ちたる愉快なる會合なり、午後五時頃には出席會員の半ばは來會し六時頃には既に皆集まると云ふ盛況にて休憩室に於ける談笑湧くが如し、軈て宇佐川總裁吉原副總裁以下の臨席せらるゝや、食堂は開かれて一同食卓に就く、宴酣にして淸水幹事起て、歡迎の辭を述ぶ

淸水幹事 私は市原幹事長不在の故を以て茲に歡迎の辭を述べます、本夕の會合は本會**創立以來**未だ曾てなき盛大な**愉快**なる會合である、何となれば本會の總裁以下の臨席を辱ふしたるは本會の最も光榮とする所である、從來と雖も統監府を始め韓國政府に於ける唯一機關たる東拓會社總裁副總裁其他著名の士の臨場せられたることもあるが、本夕の如く斯く多くの來賓を迎へたることなきは實に**最も密接**の關係ある會社の頭腦たる總裁以下が創業匆々の繁忙に拘らず万障御操合せになり擧て來臨せられたることは**滿腔の歡喜**を以て一同に替りて謝辭を呈するのである、終に於て申上げたきことは本會には一の不文の法律あり臨場せられたる人には必ず一の課稅をなすことである、曾て伊藤統監にも曾禰副統監にも坂谷男にも遠慮なく此課稅を實行したのである、併し本會の課稅は敢て金錢を徵するのではない、本會に臨まれたる人は各自の意見若しくは抱負等に就て御演說を願ふのである、故に本夕の來賓にも亦此稅を課するのである、何卒充分財布の底を叩いて拂ひ下さるよう希望致します云々と述べ終るや、**宇佐川總裁**は起立せり、萬目總裁の一身に集る、圓顏豐頰溫乎たる風は徐ろに人をして愛慕の念を起さしむ、餘りに快辯ならざる重々しき口調にて述べて曰く

唯今は淸水幹事より御叮嚀なる歡迎の辭を受けまして一同に替りて深く感謝致します、唯今の御言葉に依りますれば來場者には稅を課するとの事にて**財布**を叩きて支拂との仰せなれども私は生憎唯今**財布を忘れて**來ましたる故御規定の課稅に應ずることは出來ないのは甚だ遺憾であります、但し仲間の中に財布の持合せがあるかも知れません、私は唯少しく現今の京城を見まして今昔の感に堪へぬことを一寸申上げたいと思ひます、（明治初年よりの日韓關係を略述し）自分が公使館武官たる頃は居留民も少く排日思想も盛にして居留民は安眠も出來ない程であつたのである、然るに今は多數の在留民あり其經營の發展を見るにつけて心中大に愉快を感ずるのである云々

總裁の答辭終るや、淸水幹事は卓上演說通告の順序により田村義次郎氏に演說を促す、溫容老貌なる**田村氏**は起てり、

閣下並に諸君、東拓重役諸氏の歡迎に就て私は會社に對する**希望**を簡單に述べたいと思ひます、殖民問題は帝國の重大なる問題である、會社は殖民に就て大なる責任を有するを以て殖民に就ての希望を述べるは當を得たることゝ思ふ、各國の殖民史を見るに日韓の關係位好都合の處はない、印度に於ける英國の殖民狀態を見るに三億の印度人の中に三十五萬の英人であるが、千人に一人の割合である、韓國に於ける日本人は十五萬人であるが韓人一千萬人とすれば百人に付一人三分計りの割合である、而も此等は政府の獎勵もなく隨意渡航して苦辛を嘗て經營して居るのである、之は韓國が氣候及び風俗人情迄日本に近いからである**日本**の**殖民**地としては最も恰當であるからである、之に反して氣候風俗習慣の異る所では發達しない、臺灣領有以來十五年になるが中々發展しない氣候の爲に病氣に罹る等の恐れある爲に在住人永住の念なし要するに臺灣は政治には成功せるも殖民には未だ成功せず、韓國は政治に於ては未だ成功したりと云ふ可らざるも殖民は益々成功の傾きを持て居る韓國にては意外なる儲けはないが働けば必ず幾分の成功はするのである、斯る好適なる殖民地なるにも拘らず割合に移住民の增加せざるは**帝國政府の政策**が**經濟**と云ふことを**基礎**にしないからである、云々と述べて（話頭は更に一轉して）東拓會社は統監府と同じく韓人本位か移住民であるか願はくは**移住民を本位**として之を重じて貰ひたいのである從來帝國の官憲は兎角居留民を**度外視**する傾がある、之は甚だ誤つたる仕方である、邦人移住の機關たる會社は充分茲に留意して貰きたい本夕臨席せられたる諸君は帝國に於ける有數の人材である、必ずや其經營に就て大なる抱負あらん云々

次に起立せるは京城に於ける**韓國通**の**鮎貝**房之進氏なり、氏は徐ろに異樂なる口調に依りて高麗時代に於ける元の對韓策なる最も興味ある歷史談を述べられたり、元が韓の高麗朝を威壓して大に服從せしめたるを說き、其間韓人の反覆常ならざる行動を叙し、流石の元も烟の如く雲の如く押へ所なき韓人に對して手甲摺り終に王室を取込み**徵貢**に依り實力を減殺し亦**臣禮**を取らしむる三政策により三十年間能く威壓屈服せしめたること、亦明の對韓策は徹頭徹尾放任主義にして每年廷使を明に使せしめて臣禮をなさしめたるに過ざるを說き、而して韓人が元明兩國に對する感想は今尙ほ明の德を稱し元を夷狄さするも之れ唯だ外交的言辭のみとして更に韓人の反覆常なき薄信を述べて喝破して曰く

韓人が明を德として居りしも僞である、我文祿の役に明の助けを得たるを德とし其他明の好意を領したりと稱するも**皆僞**である見よ明の亡滅するに際し明は韓國に援兵を依賴した、韓國も止むなく遂に出兵したが更に明の援護を爲さゞるのみならず、明の到底**勝利**なきを見るや反對**清に應援**し明に敵對したのである、茲に於て對韓策に就て懷柔政策と威壓政策と何れが可なるやが判明するのである、明の懷柔政策は美事に失敗して元の威壓政策は三十年間屈服せしめたのである云々と對韓人策の**秘奧**を說きて除蘊なかりき、次に起てるは**東亞煙草の赤間**氏なり、氏は快活なる口調にて流暢に述べて曰く

京城に於ては兎角官民間の意志流通を缺くの之は役人方が惡いと思ふ、民間のものは高官の家を訪れて玄關拂ひを喰ふものは少なくない、集會でも官吏が上に座ると云ふ事にて常に融和を缺く、東拓會社は半官半民の會社である、何れかと云へば官に近き方であるがドウか斯る**弊**に陷入らない樣に希望するのである、官民間意志の疎通せざるより種々**誤解**が起るのである、私が地方に行つたとき此地方に日本莨をなせ擴めぬかと日本人の役人から言はれたることがある然るに何ぞ圖らむ、其地方にはゴルデンバット其他の日本莨か澤山入込んである之を其役人に詰ると其役人曰くゴルデンバットは日本の莨であるかと、斯る物に無頓着なる役人が報告するものが度支部に集る之を日本の大藏省に報告せらるゝことになる官邊の調査もこんな理屈で隨分當にならぬものである、東拓は宜敷官より萬事くこのみをせずして民間の方より聞くことに就き聞かるゝこさが最肝要と思ふ云々

次に起立したるは名にし負う雄辨家たる**熊谷民長**にぞありける氏は統監政治と東拓會社の方針なる下に例により快辨を揮へり、始めに**中學問題**を說きて或人は之を統監府に一任すべし日本に於ては中學校は府縣若しくは國立なり自治團体に於て之を設置するものなし云々と、併し自分は之に就て深く考へたり統監府なるものは全体何をなす所なるかを研究するの必要あり統監府は吾々在留民の爲に設けられたるものに非ずして韓國指導啓發の爲に設けられたるものなり故に**中學校設置**の如きは統監府に賴むべきものに非ずと斷定し、更に進んで東拓會社に及び會社も矢張り韓國本位であるか將た在留民本位であるが之が即ち攻究すべき問題なりと喝破して曰く

會社は**日本本位**でなければならぬ、韓國指導の爲には年々百幾十万圓の國費を放じて設けられたる統監府あり、尙此上に年々三十万圓の補助を爲す**東拓**會**社迄**が韓國本意となられては甚だ困る東拓會社は此位義に於て**移住策**を遂行せらるゝ樣に本夕臨席の重役諸君に熱誠以て御依賴致します云々

最後に本社長峯岸の演說あり散會したるは將さに午後十時當夜の出席者は官民重立ちたる會員七十名なりしと云ふ（峯岸の演說筆記は次號）

對東拓希望論評

記事輻輳に付本日休揭

●宋內相の免官

內相宋秉畯は昨日依願免官となりたり（電報通信所報）

●朴の內相就任

別項宋秉畯の後任は前參政大臣は朴齊純と決定昨日親任式を擧行せり（電報通信所報）

●東拓補助金問題

東洋拓殖補助金問題につき貴族院豫算分科會は二十四日午後一時開會前日來の爭點たる年割額三十萬圓中より會社創立后の三個月分即ち七萬五千圓を給與すべしとの反對派の說に對し政府側よりは一個年分の全額を給すべしとの說出で採決の結果出席者九名中全額を給するを可とする者五名（研究會四、幸俱樂部一）不當とする者四（土曜會二、木曜會二）即ち四に對する五を以て豫算委員會に於て政府黨對反對派の第一戰は終に政府の勝利に歸したり

●漁業法施行と免許料

漁業法の施行期日は豫報の如く愈々四月一日より施行する旨昨日の官報を以て發表せられたるが同法施行に伴ふ免許漁業に關する免許出願、免許期間更新、免許狀再交附訂正、漁場紛議裁決等に對する手數料及び宮內府所管なりし漁基に對する特別手數料（漁基は目下度支部所管とし入札に附し一ケ年間は其の漁業權を處分せしも右期間經過の後に他の漁場と共に農商工部所管とし漁業法に據りて處分するものなるも他の漁場よりは特別に有利なるものなれば特別手數料を納附せしむるものなり）の規定の下に發布さるゝ筈なり

●東拓重役地方行

東洋拓殖會社總裁宇佐川氏副總裁吉原氏其他の諸氏等は近々手を別つて南韓を始め各地方へ實況視察に赴かるゝ由なり

●歲出豫備金費途

昨日の官報を以て本年度歲出豫算中豫備金の費途は退官賜金、死亡賜金、外國人召聘其他に支出し得べき旨を發布されたり

●東拓貸付規定

東拓會社の金融部に於ては岩佐同部長の擔當にて貸付に關する規定の草案起草中にて脫稿の上は重役會に附し夫れより兩國政府の認可を得べき筈なれば其往復にも十余日を要するのみならず改訂を命せらるゝ所もあるを以て三月中には貸付を始むる能はざるべしと

●本日の民會ご豫算

今二十八日午後六時より開かるべき民團議會に於ては四十二年度總豫算を提出すべき筈にて熊谷民長は各種の方針に就き說明すべしといふ

●大阪ご南浦の關係

鎭南浦より大坂に輸出する黃海、平安の米穀は年々十五萬石を下らず又同港に於ける日用品及雜貨は概して大坂よりの輸入を仰ぎ一部は同港を經て平壤に轉送し一部は各地に分配せらるゝ有樣にて鎭南浦と大坂との經濟的關係は頗る密接なるも但是に憂ふべきは例の大坂人の特色たる粗作濫造品をドシ／＼と同港に供給するより近來批難の聲起り居れりといふ

●北韓航路の活動

大阪商船會社にては來月六日より咸興丸（二千百五十五噸）を使用し北韓各港に寄港せしめ大に旅客の利便を計るべき方針なりと云ふ而して該船舶は旅客專用にして客室には夜間は凡て電燈裝置をなし且つ大船なるを以て波浪に餘り動搖せらるゝ事なく客室は一等十六名二等廿六名三等二百四十七名を收容し得ると云ふ

●大迫中將の出發

同中將は昨日午後十時十分南大門發の列車にて北韓に向はる

●滿韓聯絡ご鴨綠江

統監府鐵道管理局が安奉線の改修と相竢ち滿韓鐵道の完全なる聯絡を期圖し近々着工せんとする鴨綠江架橋工事の內容は延長三千百八十二尺橋桁は三百尺のもの六連二百尺のもの六連を用ひ橋梁の基面は平時の滿潮面八十二尺より二十九尺を高め通常の船舶は自由に其の下を航行し得べく其れ以上のものゝ爲には電氣力に據り廻轉すべき廻轉車を用ひ如何なる帆檣高き船舶をも容易に通過し得べき仕組と爲し竣工期まで三箇年を要し經費三百四十萬圓の豫算の由にて平壤出張所其の任に當るべく豫定通り出來の上は交通上一大功績を痕すべしとなりと云ふ

●五十八銀行の改稱

轉に百三十銀行に合併したる五十八銀行は來月九日の公告期間を了りたる後百三十銀行と改稱する筈なり

●關稅定率法輸入表中改正案

代議士千田榮之助氏外六名より提出せる關稅定率法輸入表中改正案は終に可決され愈々來る一月一日より實施さるゝことゝなりたるが左に之が提出の理由及び品目並に新舊稅率を差を揭ぐべし

理由

現今の關稅定率法に於ける輸入米麥の課稅は甚だ輕きに失するを以て內國產米麥の價格を低廉ならしめ農民の負擔を苛重ならしむると同時に我邦經濟界一般に惡影響を及ぼすの弊あるが故に輸入稅率を高め以て之が匡救の道を講ずるは現時に於て最急務なりと認む

品名	單位	稅率 舊	稅率 新
米及籾	每百斤	六四錢	一、六五錢
大麥	同	四五	一、〇〇
小麥	同	五七	一、〇七
小麥粉	同	四五	二、八五

因に韓國米は一石（均二百四十斤）なれば石に付き三圓九十六錢の課稅となるべし

●在韓獨國人の美擧

在京城獨乙國總領事代理ウエンジユ氏は在京城同國領事館員及京仁在住同國人間より金四百圓を醵金し咸鏡南道文川郡飢饉の被害民に寄贈方を統監府に申出でたるを以て統監府は目下其の手續中なりと云ふ

●木浦港さ濟州島

人口十餘萬を有する濟州島は帆船及び汽船の便により總べて物資を木浦に仰ぎつゝあり從つて木浦は濟州島を以て好得意となし月々饒多なる貨物を販賣し居る由

●解氷後南浦輸出

結氷以來平壤よりは元山行の粟黍を初め釜山又は日本行の雜穀等鐵道にて輸送せらるゝもの頻々として絕へず頗る多額に上りたる有樣なるが解氷後南浦より積むべき穀類既に斯く鐵道のため奪はれたるに依り其の輸出入は不振を呈すべしと云ふ者あり

●日本人會長改選

三浪津日本人會長龜田門次郎氏今回辭任に付其後任選擧を行ひたる結果同地韓國興業會社支配人今井秀之助氏當選したれば再昨日理事廳へ其改選認可を申請したり

●種苗場の設置

今般全南光州、全北全州、平北義州、咸北鏡城及び黃海道海州に種苗場を設置すべしと云ふ

●三宅法務院評定官

同氏は今回廣島東京の兩控訴院へ出張されたり

●淺見法務院評定官

同氏は今回仁川、群山、木浦の各地へ出張を命せられたり

本日の集會

▲メソヂスト敎會 旭町二丁目の同敎會にては午前十時より山口照平氏の『聖書の研究』同十一時より村田牧師の『吾が羊を牧へ』と題する說敎あり更に午後七時より木原牧師の感話及傳道說敎ある由

▲日本基督敎會 旭町四丁目の同敎會にては午前九時より日曜學校同十時より米澤牧師の『盛生、曙』午後七時半より石原牧師の『靈的監獄』と題する說敎あり

▲京城基督敎會 日の出町の同敎會にては午前九時半より日曜學校同十時半より石原牧師の『希伯詩人の信仰生活』午後七時半より米澤牧師の『舊約聖書論』の講話ある由

▲長谷川町西本願寺 午後七時より嚴開敎使の『佛と友なり』といふ說敎あり

公人私人

▲羅內部書記官 同氏は文川郡飢饉救濟の爲め明日出發該地へ向ふ由

▲奧田仁川民團長 昨日入京宇佐川中將を訪問せり

▲德永福岡縣商工課長 一昨日群山に出立

▲大串同縣水產試驗課長 一昨日群山へ出發

●近事片々

▲東拓の補助金に就て桂藏相貴族院に於て辯明に努む上院連中釋然たらざる處あり

▲然れども勢ひ通過せしならん、彼是考ふれば東拓の前途には尙幾多の困難[illegible]

▲宋內相が基督敎徒を排日杯と罵倒せし[illegible]

▲統監政治の質問演說は隨分辛辣[illegible]には米國領事も大に憤り[illegible]

▲今や祖國々民が韓國に對する觀念の[illegible]多少伊藤公の胸にも應へたらんと或は異[illegible]

▲國民が滿韓に對する[illegible]し來り從て對韓政策の監視も頗る緊切[illegible]

▲政府の對韓策は從來常に變化して[illegible]は抑も帝國の大陸發展の機運[illegible]

▲殖民經營は今や宇內の大勢となり[illegible]なし國民の自覺により始めて大方針立た[illegible]

▲國民は宜しく政府當局者を鞭撻して[illegible]國の如き過剩人口の多き國は殊更に深[illegible]

▲英國の大陸政策を勵行せしむるに[illegible]國は埃及印度間の大鐵道布設の計畫[illegible]

▲更に此鐵道を延長して彼斯アフガニス[illegible]り今將さに測量に着手せん流石は英國[illegible]

▲要するに南亞の橫斷鐵道なり此が竣工[illegible]タンに及ぼさんとするの計畫なりとは雄大[illegible]

▲斯る大規模の殖民政策を[illegible]の上は英國の南亞に於ける勢力頓に增さん[illegible]

▲之に就けても北韓鐵道京元鐵道の急務[illegible]亞經營を顧れば轉た感慨に堪へざる者あり[illegible]

▲露國が土耳其帝府を[illegible]なるを思ずんばあらず當局者[illegible]

▲露國は今や頻に潛勢力を養ひ居れり[illegible]プ民族大同盟成るの日は如何に發展せん[illegible]

▲英國と云ひ露國と云ひ何れも雄大なる[illegible]ラブ大同盟の活動は軈て事實に現出せん[illegible]

▲無邊 俠勇渡邊國武氏は秋元子爵の紹介[illegible]殖民政策を計畫しつゝあり獨逸亦然らん[illegible]

▲原氏 渡邊氏とは由來合致せず俠勇舞[illegible]にて政友會に舞ひ戾らんと亦た騎せるかな[illegible]戾るも原氏に壓せられて勢力は得難から[illegible]

▲瓦斯會社總會 日韓瓦斯會社役員總會を開き當季利益金二万〇三[illegible]

▲特使の親書 韓國謝恩特使一行は三月二日沼津に 皇后陛下を[illegible]

▲東拓補助金可決 貴族院本[illegible]

▲犬養毅除名 犬養毅は[illegible]

●韓人の銀行設立 [illegible]にして銀行一般業務即ち諸預金貸付金爲替[illegible]せるが金同府尹は詳細なる副伸書を添へて[illegible]合せ中の由なるが或る人の說に依るに東[illegible]

●酒井政平の破綻（六）

……悲むべき居留地の問題▲中村再造、氏の被告事件眞相

中村氏一度刑事の告訴を提起して以來何しろ會議所會頭民會議員等の公職を帶びる氏にして如何なればこそ急はしき不名譽なる告訴を受くるに至りしかと世人は大に怪しみつゝある次第なるが兎角は本紙の記事進行によりて其眞相は明瞭となるべし

▲酒井の債務　酒井の債務の幾許なるやは報告書によりて明瞭なるも一昨日本社が接受したる匿名投書によれば彼の報告書に現れ居る數字は全然虚僞にて實は酒井と某々債權者と共謀して破産の場合に酒井に都合良き債權態と債務を多額に計上したるものなれば酒井の振出しある約束手形中には未だ酒井が金を受取たるに非ずして全然空の物もありとの事なり而し本社は斯る事を輕々敷信ずべきにあらざるを以て何れ精探の上明かに報導することゝなすべし

▲酒井の財産　及び他に對して有する債權も酒井が債權者財閥に提供したる以外に隱匿しある者中々に多しとは匿名投書中に記しあることなるが之とて本社は輕々敷信ずべきに非ずとして精探に付したり

▲詐僞破産　尤も前二項の事柄にして實なりとせば酒井は始めより債者中の惡意の人々と共謀して詐僞破産を企てたるものにて其所爲は惡みても餘ある次第也

第二回報告書（前號の續き）

第三、十友會社に對する交渉

同社との交渉は整理の當初より開始し十數回折衝の結果同社は債權金五百圓全部を放棄し尚現金一千圓を財團の爲め提供すべし但し此以上に就ては支出は勿論復權等の交渉に應ずる餘地なし云々と主張せられたり

第四、釘木氏の債權處置及同氏へ土地家屋賣却交渉

同氏の債權額は金五千圓にして内金三千圓に對しては本町一丁目所在宅地百三十三坪の上に建てある家屋二階建十五坪平家三十七坪を擔保とせり（本年二月以降の分）而して該土地家屋の評價約六千三百圓なるを八千二百五十圓を以て同氏に賣却し同氏の債權五千圓を相殺することにし實業會社拂込株金二百二十圓を同氏に讓渡すことに略定し而して本件に付ても此以上は交渉の餘地なし

第五、梶原末太郎氏に賣却したる土地に關する交渉の件

軍司令部前空地約二百五十坪は先きに同氏より債務金二千圓を以て三月後に同氏に賣却して其債務を辨濟したり依て委員は同氏に交渉して目下復權せずに現金一千五百圓を出すべきことに略定せり（つゞく）

●布教總監の空權屋

▲龍山本願寺布教總監發黜の眞相

子曰く、其本紊れて末治まるものはあらじ矣と、宜也、緇衣に甘んじ素餐に樂しみ末世濁亂の衆生の爲めに王法を裨補すべく佛法宣流の大任ある人天の大導師たるべき身を以て教祖親鸞上人が出家沙門又無慚の草木にあらずされば肉食妻帶又何んの妨ぐることあらんやと宣り示し玉へる御心の程をはかり究めんとはせず教祖の一言を楯にとり酒色に荒み妾を蓄へ神聖なるべき枳殻邸内絃歌湧くの奇觀を現出しればけなくも之れを天女の奏樂に擬し八八の花合戰に坊主頭に湯氣を立ち昇らせては此れを天華繽爛繽紛として天降るに擬するなどあらゆる非行を敢てしたる一世の怪僧大谷光尊の亞流を汲める龍山本派本願寺布教總監部總監大谷某は其の役名を亂用し衆生濟度は某方退けにし空權家一名志士連（一名空拳屋とも云ふ）と結托し鑛山に工業に種々の方面に手を出して布教費用やられ有難家連やらから差し出さしめたる冥加金やらを合して少なからぬ金を費消したる其上に未だ其役目を御連枝と云ふを利用し一万八千餘圓の私財をなしたることと本山監部の知る處となり遂に其職を免ぜられたりと、教祖親鸞の靈にして此れを知るならば本山と云ひ布教師と云ひこの重ね／＼の失態にさぞ地下に萬斛の涙を濺ぐなるべし嗚道師の袋遊樹の非業は啻に止まらず近く宗祖の名を辱しめ了んぬ今は只能く生死の岸頭に踞して眞如圓覺の月を看取し來れ嗚尚は本件の裏面には錯綜る面白き消息あり精探の上追つて報導する所あるべし

●浮ばれぬ亡魂

龍山桃山遊廓○○樓にて昨年三月頃三年六ヶ月前借金三百圓にて抱へたる長崎生れのれしづといふ娼妓は顏は餘り感心せざれど性質は頗る溫柔し浮川竹の流れに身を沈むる程の女として珍らしき方なるが此の女何うした約束か知らねど最初抱へらるゝ際前借金全部を受取らず二百圓丈手に入れて殘りの百圓を主人に預け置きたるに如何なる都合にや主人といふが殘りの百圓を支拂ひ呉れず女がイクラ催促しても言を左右に托して受付けざるより女はソレを苦にして病の床に就き終に憐れ葬なくも歸らぬ旅路へ出立せしが多分其の亡魂の浮ばれざるにや近來に至りて誰云ふとなく○○樓には幽靈が出るとの噂立ち妓兒等は夜間便所に行くにも男に附いて行つて貰ふと云ふ有樣現に此の間の如きは同樓の娼妓某といふが獨りポツネンと火鉢の側に坐り居たる時艷しき女の聲にて「何々さん／＼」と呼び掛け聽て障子の影に明々と現はれ「恨めしい」といつて何れへか消へ去りたりとかいふ投書のまゝを

地方電報

▲暴徒二百五十名　羅州警察署長は巡査憲兵合同の一隊を率ひ昨二十六日正午南平郡都谷面に向ひたるに首魁朴士記朴浪洪の率ふる二百五十名の暴徒同地背後の高山に陣地を構へ居たるを以て直ちに突撃を加へたるも賊は天險と多數を恃み頗る頑强に抵抗せしが對戰三時間の後遂に南方靈巖郡方面に潰亂せしめたり此の戰鬪に於て賊八名を殪し一名を捕ふ賊の死者中首魁朴浪洪の弟財務長朴徐完あり我には損害なし（二十七日發）

●巷のいろ／＼

山口縣熊毛郡生れにて京城大和町二丁目人力車營業尾川千代吉（三三）は廿六日午後三時過ぎ知人なる明治町二の池上たか方に至りたる所たかは入浴に行く迚留守をたのまれ居る所に知り合の藤川粂吉宮竹小次郎兩人が遊び來り俗に馬鹿札と云ふ賭博をなし居たる所を御用▲仁川京町二の青物商末廣廣太郎の内縁の妻青山ヨ子（三三）は質り留金四圓を持出し無斷家出をなしたるに付き廣太郎は南部署に出頭し其趣を届出でたるに青山ヨ子を呼出して說諭したるにヨ子は日本の實母の顏を見たさに末廣と別れ度しと申出でしも之は表面の口實にて實は兼て知り合なる白石熊吉内縁の妻森元ノシなるものに勸められ京城で酌婦になることゝ判明したるを以て深く不心得を懇諭しべく說諭され相携へて共に歸宅せり▲廣島縣豐田郡東野生れにて大和町の清月樓抱妓なる向井ゑん（三十）は二十圓の前借を支拂ひ日出度廢業▲二十七日午後七時より九時までの間に大和町二丁目東洋協會分教場廊下に於て同場遊興者はインバネス及手袋を盜まる▲南大門通七七山村辰馬方飼犬（洋犬）が廿六日午後發病して二三十分間にして斃死したり先き去る廿日も洋犬一頭同樣の病にて斃死したるを以て新井獸醫をして檢診なさしめたるに何等の病徴なし只心臟に絛虫發生し居りたりと

●法廷だより　法務院三月一日の開廷事件は刑事部にして川崎半治窃盜罪及び關家雅篤横領罪の二件なりと云ふ

●日本行き（一）

柳江

養父死去の報に接し取るものも取り敢へず廿三日の朝南大門發歸鄕の途に就く實は意外の訃報で只もう夢の心地で出發した、養父は本年六十八歲である、身長五尺六寸夕飯酒の五合位はれ茶の子サイ／＼で頗る健康体であつた、然るに病氣の報せも何にも無く突然死を傳へたのだから驚かざるを得ない、養父は自分の伯父に當り六歲の時から、養育された大恩人である、一昨年の春別れたきり一度の藥餌も手づから進めず又再び逢ふ事の出來ざるに至りしは返す／＼も殘念である、平生の馬鹿元氣もなく、知已の人々に送られて車中の人となる、室には辯護士の岡田君と今一人の紳士とが居る永登浦から天安迄仁川の大崎辯護士も同車したバカに辯護士に逢ふ日だ、岡田君と今一人の紳士と三人で食堂列車に入ると、仁川の秋田氏が居る双方無言で食事を終へる多辯の余ぞ岡田氏は頻りに談ず、而かも今一人の紳士は其何人なるやを知らぬ、列車は益々進行する寂寞たる京釜沿線の風色は一入悲みを添へる、

△京城を立つ時は身を切る樣な寒さであつたが列車の進行と共に刻一刻と溫かくなり秋風嶺を越すと一層暖かくなり釜山へ着いた時はソロ／＼外套を脫いで居る人さへ見受けた、列車の將に釜山へ着せんとする頃岡田君は今一人の紳士を紹介する、一所になつて十時間後初めて挨拶をする、平生なら既くに此方から名乘つて出る處だが今日は何んだか氣が進まぬ爲め不性を構へた、此人は京城控訴院の結城判事で老母の訃音に接して鄉里久留米に歸る途中だ、是れは父を亡ひ、彼れは母を亡つて歸る、サアー同病相憐むの例へに漏れず意氣頗る相投合し殊に親しくなつて、岡田君と釜山で別れ殘つた二人は汽車を離れ船の人となつた、船には仁川の旭屋旅館の親爺も居る先方は知らぬが、此方はチャンと知つて居る爺さん金口莨を一千本所持して居る爲め二百本は沒收され、殘り八百本に對して二十圓の稅金を徵收された、煙草の價を聞けば、一箱一圓五十錢だそうだが、一箱に二圓五十錢を課せられて丁度四圓となつたのは聊か氣の毒であつた、

△此夜海上頗る穩かにして翌朝下關に入港す、檣上高く日章旗が翻つて居る何人に敬意を表するのかと思ふと別室から宮岡海軍少將が出て來るナール程と合點せられた、茲にて結城氏は門司へ自分は下關へと上陸し、先づ懇兄の家を訪づれた

（廿四日下關にて）

◀平民文庫▶



▲湯屋と床屋は幾度忠告しても改めぬ家あり今後尚は反省する所なくんば其氏名及び事實を摘發して充分に膺懲せん哉（烟酌玉）▲街路を掃除するに水を撒かずして掃き立てる故黃塵萬丈通行人や店舖の陳列品に妨害を與へる事少からず注意せよ（世話役）▲水を撒くにも時機見て撒かざれば道路氷り往來の人頗る危險なり是れ亦注意を要す（同人）▲深山の柴を牛に積みて狹き路次を遠慮なく通るナムジンスには閉口する道一杯に立塞りて他の人は甚だ迷惑するから何んとか取締の方法を設けたい（一官吏）▲「不景氣さ娼妓火鉢で船をこぎ」「有明の月まだ寒し水仙花」「看護婦で來たのがこんな緣となり」拙さ加減には自分ながら呆れる（南韓生）▲南韓生さんよ拙くはないよ投書して呉れ玉へ（係）▲桃山○○樓の主人は仁川で詐欺を働いた前科者です娼妓をいぢめ殺したのか一人あります夫れが此の頃では化けとなつて出ると云ふ評判です（實見生）▲オー恐い（係）▲今神戶大阪間にマラソン大競走がある相ですが京城にも一つ催して欲しい（希望生）▲今の世は俗物の世なり權詐の世なり皮相の世なり浮薄の世なり輕佻の世なり小人物跳梁の世なり今の世に容れられざる余は却つて其容れられざるを喜ぶ（韓國改革者）▲然りアヲヨクツテヨの世なり（編輯小僧）▲西小門外第二合宿の阿部雪子さんと南大門電話交換手後園九八君との面白い電話の交換は如何に逢瀨なる三面子さんも御存じはありますまい何ならば次號へ詳しく送りますが載せますか（電信柱）▲岡燒きの捏造說でなければ（係）▲京龍間の有志者よ一つテニス倶樂部を組織しては如何です（運動生）▲僕は韓國へ來てから七年になるが釜山へは今度始めてゞあるから宿屋なぞも何處が宜いか分らんので宜い加減の當て推量で琴平町の荒井旅館に投宿したが設備の完全待遇の親切宿料の低廉なる眞に得安からざる好旅館で勘定の時など間違いぢやないかと其安さに驚いて調べ直して貰つた位であつた陰で滯釜十日間心持ちよく用事を遂することを得た（越山）

●天氣豫報（自廿七日午後六時 至廿八日午後六時）

北東の風曇

廿七日　最高溫度　最低溫度（華氏）　四二、六　二一、七

本日午前六時韓國氣象概況　低氣壓は滿洲及東海に出現せしを以て天候次第に變化するものゝ如く南部は概ね曇天其他は晴天なり

▲無料紹介欄▼

人事部

被雇度 履歴書 法律事務に心得あり年齢二十三歳 在社(一七〇)

被雇度 履歴書 簿記に心得あり會社官廳を望む年齢二十六 在社(一七二)

物理學校及小學校卒業の者數學物理日語教師に被雇度地方行にても宜し俸給不論 姓名在社(一七三)

昨年十一月現役滿期下士 社員又は銀行事務員に雇はれたし可成は韓國側官省の事務員を望む履歴書は何時にても持參 姓名在社(一七九)

店員數名職工數名募集 京城御成町 岡本染色工場(一八一)

小學教員免許狀有し多年教員經驗有良家の家庭教師を望む履歴書御望次第送附す 姓名在社(一八二)

教員免狀有し多年教育事業に經驗有り韓人兩班の日語教師を望む委細は面談 姓名在社(一八三)

年齢二十五中等教育有り煩雜多忙なる事務に從事したし聰明なる頭腦を有するに似ず至極遲筆ならず稍文章に長ず履歴書面談何にても不苦 姓名在社(一八四)

用達業に多年經驗を有す給料望まず雇はれたし (姓名在社一八五)

物件部

貸間 二階六疊二間床附押入付至急貸したし 旭町一丁目六十、京仁商會(一六一)

雜貨 見切品見世仕舞品及諸道具其他不用品何でも買入ます 旭町一丁目 旭町鋭賣所(一六二)

賣家 大和町三丁目遊廓裏道川端地坪約五十坪瓦葺平家造作付西軒建長家赤門 (一六八)

貸間 旭町便利の場所に賄付上等貸間あり商等官亦會社員向御希望の方は電話六五九番に御紹介被下度候(一六九)

旭町一丁目山の手にて風景絶佳の土地建物付にて讓り度し 姓名在社(一七五)

急致院近傍にて田畑二十余町歩納家二棟農具各種小作又は讓渡しの相談に應ず 姓名在社(一七七)

貸家 京城旭町二丁目所在二階建五間家賃廿二圓、廿三圓、卅五圓手元用水便利也 明治町角秋田合名會社貸家係(電話二〇番)(一七八)

貸地 龍山桃坡契(彌樂庫横)千五百坪便利貸附仕候風景絶佳住宅向 京城北米倉町一丁目 多田質店(一八〇)

廣告



縫外れ其他不完全の品有之候節は何れの販賣店にても御引替可申候

新製御案内 やま玉タオル

右タオルは綿布工場部の製織にて特別廉價を以て發賣可仕候間不拘多少御注文被仰付度偏に希望候

やま玉足袋 御賣出張所



東京火災保險株式會社

日本國火災保險業の嚆矢 明治廿年創立資本金一千萬圓

代辦店 山口呉服店

事務所 京城本町二の三電話九番

日本官製煙草ウェルス(珊瑚印)景品當籤番號

一等 白米二十俵 一二〇三

二等 白米五俵 二一九六

三等 白米三俵 三三三一

四等 白米一俵 一七〇 一八九 二九二

五等(敷島一箱)
三一 / 四四 / 四六
三一 / 五八 / 二八
三二 / 六三一 / 八五五
三二 / 六三一 / 九九七
三二 / 八四四 / 五一七
三二 / 九五九 / 三八四
二 / 六九 / 一九
二一 / 七〇 / 二八

六等(朝日一箱)
三三一 / 〇三五 / 二二五
三三一 / 一四六 / 四〇二
三三一 / 六一五七 / 二六三七五
三三一 / 七一六八 / 三七〇三九
三三一 / 七一七九一 / 八九五三二
三一 / 二九〇三 / 三〇五五
三二一 / 五二二三 / 〇一三九
三二一 / 五二二五 / 六四八四

七等(ハ子ビー一箱)
三三三二二二一一一一 / 八三〇六三七五一八六五二 / 四三〇五二八四九七五一四
三三三二二二一一一 / 九三〇六三〇五二八六五二一 / 二四三八三〇七一八八二九
三三三二二二一一一 / 九三〇六三〇五三九六五三 / 六六八九六二九一〇九三三一
三三三二二二一一 / 九五一七四〇六三九七五三 / 七九一七〇五一四六一六四六
三三三二二二一一一 / 九六一八四〇六四〇七五三 / 八四三一七九五一一三七六七
四三三二二二一一一 / 〇七一九四一七四〇七五四一 / 〇一五〇九三三四四六八〇六
三三二二二一一一 / 七二九五二七四一七六四一 / 五八四〇〇六七一九〇四八
三三二二二一一一 / 八二九六三七四一八六四一 / 三九五二一七九七六一九九

八等 前記の外一百二十七本

東亞煙草株式會社仁川出張所



米國紐育 ボーデンス煉乳會社

鷲印煉乳は品質良好にして滋養に富む

私こと營業罷在候料理店「蝶々」こと先般燒失仕候本町廳に隣接し而してその裏手は**清國總領事館**の土塀に接し居り御承知の通り該場所は穴藏のごとき所にて萬一の場合出火等有之候節は殆ど避難の場所御座なく常に心痛致居候處果然先般の火災に際し避難の個所無之家内一同困却致居候折柄**清國總領事館**にては元來他國人の無斷にて入ることを禁せられ居る御規則あるにも係らず私方の困難に多大の御同情を玉はり家人の同構内に入ることを許され御影を以て家内一同僅に身を以て避難致すことを得申候夫のみならず館員は**翻譯官陳秉昆**氏始め日語に堪能なる方々出迎へられ徹夜にて暖爐を温め且湯水の御世話まで親身も及ばさる御厚情を蒙り家内一同嗚々感泣致し申候右樣の次第にて清國總領事館の今回に於ける御厚情は私方家内一同永遠に忘却し仕らさる儀に有之候茲に謹んで御禮申上候と共に此の忘るべからさる御厚恩を永へに紀念仕るため紙上に於て廣く大方に謹告仕候也

京城本町一丁目 料理店 蝶々事

金尾虎之助

親族一同



美術書畫 襖、壁、天井張

京城壽町一丁目 桂萬吉

大見切賣

金口卷莨各種 エヂフト卷莨

弊店儀營業上の都合に依り來る二十五日より三月二十五日迄(三十日間)現在品悉皆各國產煙草大見切安直を以て(但し現金)御高需に應し候間此際陸續御用命の程奉願候

二月二日



本町一丁目 トルコ煙草商

日希商會

各位

至急廣告

時下寒明ノ候ニ相成先以テ無事ナル御方々ハ御安靜之段奉賀候就而本年ハ酉年トテ古人ノ詞ニ酉年ハ火災多シト依テ此災害ヲ未前ニ防クノ條件ヲ守ラバ必ズ災害ノ憂ナシ

第一 貴重ナル寶物ハ高崎製金庫ニ貯藏スルコト

第二 戸前窓口等ハ日英米特許ノ防火扉ヲ付クルコト

第三 消防用トシテ東京岡崎製ノポンプヲ備付クルコト

右ノ通ニ付未タ据付無之諸君ハ左記ノ處ニテ御買求之程目下之急務ニ有之候定價表御入用ノ方ハ申越次第呈送ス

高崎製金庫 韓國一手販賣

京城支那領事館通

清韓洋行

電話四九四番

最近ノ火災ニテ實地證明ハ

明治四十年三月五日仁川大火ノ節

第二號形 宅合名會社

第七號形 前之園煙草店

第六號形 日々新聞社

第六號形 龍山兼古

第三號 仁川醬油會社

御注意

近頃弊店の名儀を騙り諸方を徘徊致す者有之候に付弊店の覺ねなき物品を請求に御足勞被下候事度々に御座候故御引立の御方樣へ御得意廻りの厚司の襟に必ず陸軍御用近江屋洗濯部の印ニ何卒御注意の程御奉願上候

陸軍御用 諸官舍御用

洋服洗濯 萬染物 洗張 ゆのし しみぬき 御紋上繪 並に 幕 織調進

龍山新市街 北櫻町 商號 近江屋 電話カセツ中

京城曙町(電話六八四番)

統監府御用 宮內府御用 軸物表裝 金銀屏風 額面 襖張 天井張

石川表具店

▲清潔の下宿▼

客室の清潔と調理の美味とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

▲懇切の下宿▼

壽町二丁目十番戸橫小路(元花屋跡)

かめ屋

材木大發賣

弊店にて各項好品材木を俱備し廉價放賣仕候其種類は左の如し

松丸太 大中小
同角材 各種
同板物 各種

右物品は多數有之候間入用の御方は御購買被下度候

京城永樂町二丁目赤門通 竹東材木店 白告

純良



牛乳元祖

京城大和町一丁目

平山牧場

電話百三十三番



特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目

大上商店

(電話二五一番)

和洋酒、回精酎、穀物麵類、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣

尚御望に依り商品切手調進仕候

待合 花月

京城南山町一町病院前 電話 番

登記漢城府手續 民役所代書 諸願屆代書 土地鑛山測量 集金取立代辦 土地家屋賣買其他金錢貸借諸般ノ仲介

京城本町一丁目 民役所前 岡田事務所 電話七〇五番

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告

貨物及船客取扱店 仁川海岸通 郵・回漕店 電話三九番

●大連行(船客御斷) 新潟丸 二月 日午後五時出帆

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 三月 十三日後三時

●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 三月 十八日後一時

●大連、大沽行 山東丸 三月 二日前五時

酒田丸 三月 四日正午

●釜山出帆、元山、清津、浦潮行 上川丸 二月二十四日

御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船着

●新聞料 一枚金二錢 一ヶ月前金 三ヶ月 六ヶ月前金 壹ヶ年

●廣告料 五號活字十九字詰一行金 二號活字

發行兼編輯人 秋山忠三郎

印刷人 高木久馬太郎

發行所 京城新報社 電話六六三番